

## 国際的に許可された立ちション

40年ほど前、一添乗員が経験した下品な話で恐縮である。バンコック国際空港の滑走路傍で航空会社公認の下に立ちションを経験したことがある。搭乗していたラングーン（現ヤンゴン）行ビルマ航空機が滑走路上で離陸の指示を待っていた時、理由も知らされず突然滑走路が閉鎖された。離陸できずそのまま滑走路上で待機させられる羽目に陥った。周囲には夕闇が迫り南国の空も薄暗くなってきた。

時間の経過とともに、トイレに行きたいという乗客が現れたが、客室乗務員が機内トイレの使用を許してくれなかった。そのうちに連鎖反応だろうか、オレも私もトイレ希望者が続出した。乗務員はなぜかそれでも頑としてトイレを使わせてくれない。私も次第に尿意をもよおして放尿実行連盟代表となり乗務員に交渉したが埒があかず、トイレがダメなら外でやらせろと強談判した。その結果機外なら許すと言われた。乗客はB-727機の後部タラップから外へ出た。女性客はこっそりトイレを使わせてもらったようだ。男は全員一列に並んで夕焼けの下滑走路傍で一斉に放水した。ス～とした何とも言えない開放感が強く印象に残っている。

だが、いま考えてもあの時どうして客室乗務員はトイレを頑なに使用させてくれなかったのか。仮に外で用を足すことができなかつたらどうしただろうか。未だにあの滑走路傍の立ちションに至った経緯が腑に落ちない。

それから10年後、今度はオランダの高速道路で渋滞に巻き込まれた。ドライバーから排尿はバス内で備え付けのバケツの中に処理しろと言われたが、女性客の強い抵抗に遭って往生した。止むを得ず、ドライバーに相当なチップを掴ませてバスを止めさせ、真っ暗闇の中を四方八方ちりじりに散って用を済ませたことがある。

航空機にしろ、バスにしろ、密室の乗り物内で尿意をもよおした異常事態に直面したらどういう行動を取るべきか。外が良いのか、中であるべきか。やはり外の方が気持ち良くできると思うが、それには最低限の条件がある。他人には覗かれない場所で、しかも夕闇迫るころあいがベターである。